



躍進を続けよう

21世紀は いま そこに

〈スポーツマン・シップの高揚を〉

幕別町体育連盟会長 木村正夫

幕別町体育連盟が30年記念事業を施行、早くも10年の星霜を経、平成9年度はいよいよ40周年を迎え、加盟団体も“22”と増加が続いています。各単位団体の主体的運営が功を奏し、町民の健康増進をもとに、家庭の幸せづくりに貢献。幼児より高齢者まで各自の体力や気力に適した楽しいスポーツ活動を町民自らが創造〈よく考えつくり出す〉し実践へと前進している目覚ましい姿は誠に頼もしい次第であります。

町民のスポーツ変遷記録を辿ると、大正時代初期に芽生えたスポーツが、数多くの大先輩の創造と苦汁の歴史が見られ、それを町民こぞって支援し、理事者・教育委員会・関係諸団体の一体となつての協調推進が、スポーツの盛んな“幕別町”誕生となつたわけであります。そして〈十勝〉→〈全道〉→〈全国〉へと飛躍の翼をひろげた輝かしい歴史、それを受けつぐすばらしい伝統に今身の引きしまる“誇り”を感じるわけであります。

我が国は今、世界一長寿国→世界一高齢社会日本となっておりますが、スポーツ活動を沈滞させてはなりません。スポーツ活動が親と子に共通の話題が生まれ親子で話し合うことで家族の“きづな”が強くなり家庭おだやかになり家庭の幸せが生れます。この様な幸せ多い家庭を土台とし「福祉のまちづくり」推進を計るなら「福祉の町幕別」が全道一に育ち行くことを固く信じて疑いません。

昨今都市の一部に、弱者につきまとう奇妙な行動が広がりつつあるとの風聞、こんな時にこそスポーツを愛し、スポーツで鍛えぬかれた“スポーツマン・シップ”が大切な役割をはたし明るく楽しい世の中をつくるものと確信し更に幕別町体育連盟の益々の発展と躍進を念じつつ筆を止めます。